

KANSAI Univ. News

関西大学通信

2009年
11月1日
第367号

The first issue was published on June 19, 1969 and renewed in October 1, 2009.

■特集

統一学園祭実行委員会×学生広報スタッフ企画 「学園祭の歩き方MAP」

ガイドマップを持って学園祭を楽しもう！

■Kaisers 飛躍

- アメリカンフットボール部
- アイスホッケー部
- サッカー部
- テニス部男子

■「考動」するゼミ・サークル

- 総合情報学部 小林孝史 准教授
- マスコミュニケーション学研究部



♥Kansai University



THINK × ACT
KANSAI
UNIVERSITY

統一学園祭実行委員会のみなさん



立命館大学に29年ぶりの勝利をあげたアメリカンフットボール部

アイスホッケー部、サッカー部も優勝めざす

関西リーグ優勝をめざすアメリカンフットボール部、アイスホッケー部、サッカー部。ともに現在リーグ戦の真っ最中であり、11月に最終戦を迎える。

立命館大・関西学院大の2強を倒し、61年ぶりのリーグ優勝に大きく近づいたアメリカンフットボール部。「覚悟・勝ちたいんや」をスローガンに掲げ、底上げを図った今季。選手層の厚さが増し、見事に強敵を破った。残る2試合に向け、「強い相手にも、これが関大かと思わせたい。すぐ調子に乗ってしまうので、勝って兜の緒をしめたい」と大館賢二郎主将(工学部4年

次生：写真左)は意気込みを語った。

一方、連覇の期待が懸かるアイスホッケー部。「関西にとどまるチームだとは思っていない」と話す松本和郎主将(文学部4年次生：写真中央)が率いるチームの目標は、インカレ優勝。DF篠原優平さん(文学部1年次生)、FW正保貴啓さん(政策創造学部1年次生)など今年も有力新人が多数加入。選手たちは切磋琢磨し、実力を伸ばしている。まずは関西優勝を果たし、インカレへの弾みにするつもりだ。

そして総理大臣杯3位のサッカー部。10月11日に行われた天皇杯2回戦ではJ2のクラブ相手に奮闘。試合には敗れたものの、PK戦までもつれる接戦をみせた。実力は申し分のないサッカー部。こちらも「日本一を目標にしている。一戦一戦大事にしていかなければいけない」と清水孝太主将(経済学部4年次生：写真右)は意気込みを語った。

(取材編集：関大スポーツ編集局)



アメリカンフットボール部
大館主将



アイスホッケー部
松本主将



サッカー部
清水主将

(写真提供：関大スポーツ編集局)

みんなで応援に行こう！秋季リーグ戦予定表

アメリカンフットボール部		
日 時	対戦相手	場 所
11/8(日) 11:00～	同志社大学	EXPO FLASH FIELD
11/21(土) 14:00～	甲南大学	王子スタジアム

アイスホッケー部		
日 時	対戦相手	場 所
11/1(日) 12:30～	同志社大学	関西大学アイスアリーナ
11/7(土) 17:00～	京都産業大学	

サッカー部		
日 時	対戦相手	場 所
11/3(火・祝) 11:30～	大阪産業大学	長居第2陸上競技場
11/7(土) 14:00～	桃山学院大学	
11/15(日) 14:00～	関西学院大学	三木総合防災公園 陸上競技場
11/21(土) 11:30～	同志社大学	高槻市立 総合スポーツセンター
11/29(日) 13:30～	阪南大学	長居第2陸上競技場



リーグ連覇をめざすアイスホッケー部篠原選手
(写真提供：関大スポーツ編集局)



リーグ優勝をめざすサッカー部金岡選手(文学部3年次生)
(写真提供：関大スポーツ編集局)

テニス部男子が4年ぶりに1部昇格

9月15日～10月10日にかけて開催された関西大学対抗リーグ戦において、テニス部男子が優勝した。また、神戸学院大学との入れ替え戦に勝利し、4年ぶりに1部への昇格を果たした。



作業場の様子。熱心な打ち合わせが行われていた

握手をする林企画局長と奥村委員長

1 年次生パワーで挑む学園祭 ～外国語学部祭典実行委員会～

今年新設学部として誕生した外国語学部。そのため、外国語学部祭典実行委員会（以下外祭）は先輩なしの手探りで活動している。「もう不安と心配でいっぱいです」と語る企画局長の林伸太郎さん（外1）。全15名の実行委員がスクラムを組んで挑む企画『謀報中』は、テレビ番組『逃走中』をモチーフにした、キャンパス全体を使う大型企画である。

この企画一つに懸ける外祭。来年は必修である海外留学に行くため、今年の実行委員会メンバーは、学園祭に参加することができない。そんなメンバーがどのように楽しませてもらえるのが期待大である。

企画局長の林伸太郎さん

元気 100%のスタッフで 関大 No.1 の企画に！ ～政策創造学部祭典実行委員～

代々受け継がれている大好評企画『SNAP×SNAP3』を、企画局長の横山大輔さん（政策2）は推す。学園祭に来た方々の写真をストリートスナップとして展示。それを部門別に展示する。中でも特に注目の部門が『ベストオブスマイル』。「ボードに展示された思いの写真を見ながら、青春のひと時を過ごしてもらいたい。」と横山さんは話す。

そのほかの企画では、『カップル大捜査線』も面白そうだ。来場者が偽カップルを見破り本物のカップルを当てるとある企画である。各組のカップルが指示された行動をするので、それをヒントに見極める。例えば、実際に告白したときのシチュエーションを再現することもあるそうだ。見ている方は「胸キュン」できるかも！



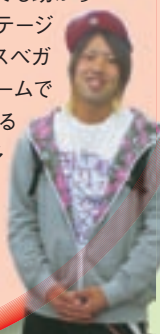
元気いっぱいの政策創造学部祭典実行委員会メンバー



倉庫が作業場。法祭の皆！

先輩が最高のアドバイザー ～経済学部祭典実行委員会～

経済学部祭典実行委員会（以下経祭）は、他の学部の実行委員会と異なり、3・4年次生も主要メンバーとして活動している。企画局長の田詰雄太さん（経2）は、「先輩達がいるので、貴重な意見がもらえてとても助かっています」と話す。経祭のイチオシは、ステージ外の『ラスベガス企画 K.U.Dream』。ラスベガスという名の通り、ブラックジャックなどのゲームでコインを集めていくと、豪華賞品をゲットできるという企画である。最後に田詰さんは、「多くの人の笑顔を見るために頑張ります」と語った。そんな経祭の企画に参加してみてもいいだろうか。



企画局長の田詰雄太さん



企画局長の伊藤敦希さん

一丸で学園祭を盛り上げる！ ～理工系学部祭典実行委員会～

理工学系学部実行委員会（以下工祭）企画局長・伊藤敦希さん（環都2）のイチオシ企画は、『おけけ屋敷』。「始めてから6年目を迎え、お客さんから去年も来たと言われるくらい定着してくれました」と語る。段ボールで工夫して作った通路と手作りの仕掛けによって、参加者に恐怖を与える。

そのほかのステージ企画として行われるのは、『おとぎの国アリス』。観客の参加もある1時間のステージでアリス役を演じる長谷川篤美さん（化生1）は、「役になりきってお客さんを盛り上げます」と意気込んだ。

工祭の合言葉は“みんなの企画”。工祭49人全員の熱い気持ちで学園祭を盛り上げる！

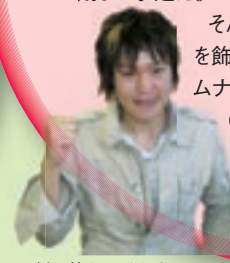


くまのダニエル君と伊藤敦希さん、長谷川篤美さん

仲間と伝統をトロッコに乗せて ～社会学部祭典実行委員会～

社会学部祭典実行委員会には、大切な伝統がある。それは、第3学舎全域を使用したアトラクション系“トロッコ”企画である。しかし、校舎の建て替えや、設計・技術力を持った先輩が引退してしまうなどの関係で、長年引き継いできたトロッコ企画は今年で幕を閉じる予定だ。

そんな伝統あるトロッコ企画のフィナーレを飾るのは『シャムナプトラ』。映画『ハムナプトラ』をモチーフに、楽しみながら王の呪いを解いていくという企画である。その君！次に王の呪いを解くのは君だ！



取材に答えてくれた萬谷昭太さん（社2）



社会学部祭典実行委員のメンバー



自慢の商祭ハッピ。なんと和柄です！

元気印の Show 祭パワー ～商学部祭典実行委員会～

今回のイチオシ企画であるファッションショー『Se aparecendo』は、ショーの合間に歌手の和紗さんが歌うというスタイルを取っており、五感を使って楽しめる企画にしたそうだ。テーマは“浮上”で、ステージよりもモデルを目立たせる演出をした。「モデル探しや出演交渉に苦労した。」と話すのは、商学部祭典実行委員（以下商祭）の北川直樹さん（商2）。元気が売りだという商祭は、仮装をして学園祭のチラシを配ることが伝統だ。「今年もセーラー服を着るみを着て宣伝する予定。いい意味で騒がしい商祭です。」



リラックスムードでだんらん中～

直撃！

各学園祭実行委員会の“イチオシ企画”や学園祭に懸ける想いを、学生広報スタッフが直撃インタビュー！ぜひ、実行委員会渾身の“イチオシ企画”に参加して、学園祭を満喫してください。

※イチオシ企画やその他企画の詳細などについては、第32回関西大学統一学園祭パンフレットで確認してください。

学園祭実行委員会

2つの学園祭を抱える 実行委員会！ ～総合情報学部祭典実行委員会～

総合情報学部祭典実行委員会（以下情祭）は、統一学園祭と高槻キャンパス祭の2つの学園祭を抱える。5月開催の高槻キャンパス祭は、高槻唯一の学部として主体的に取り組む。2つの学園祭を企画することに対して「やりがいを感じます」と語ってくれたのは、今回取材に答えてくれた寺村忠祥さん（情2）。

そんな情祭のイチオシ企画は、ステージ企画『関大レコーズ』。情祭が用意した記録に挑戦して見事達成できた参加者には、商品がプレゼントされる。そのほかにも教室企画として、ストラップ作りや砂アートを用意している。



企画の告知看板作成中の様子



取材に答えてくれた家谷悠子さん



みんなで仲良く“はい、チーズ”

あなたの1票が関大No.1を 決める！！ ～統一企画構成委員会～

統一企画構成委員会のイチオシ企画は、『K.U. ROCK FEVER 7th』。今年で7年目を迎える一番の長寿企画だ。音楽関係者と毎年600人にもおよぶ観客によって関大No.1ミュージシャンが決定される。また、今年から新たにダンスのコンテスト『KANDAI DANCE FES.09』も開催。こちらもお客さんの盛り上がり勝負の明暗を分けるそう。

「みんな協力的で、数ある実行委員会の中でも一番の仲良し！」だと語る家谷悠子さん（商2）。その言葉通り、作業場にはほのぼのとした温かい空気が流れていた。そんなメンバーが手掛ける学園祭最大のイベント。参加しないと来た意味がない？！出演者が泣くも笑うもすべてはあなた次第！

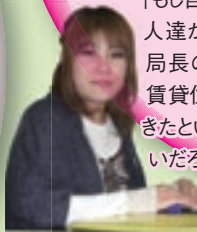
メインストリートだけでなく、 ぜひ文学部へ！ ～文学部祭典実行委員会～

文学部祭典実行委員（以下文祭）のイチオシ企画は『クライストストーリー』と『ギャルとオタクの生きる道』。『クライストストーリー』は、体験型RPG風アトラクションだ。『ギャルとオタクの生きる道』は、交際を親に反対されているギャルとオタクのカップルが、果たして婚約までいけるのかどうか？という恋愛風ドラマ。

「もし自分が親なら、結婚を認めますか？」という質問に「本人達が愛し合っているなら、それでいい。」と話す企画局長の山崎千夏さん（文2）。学園祭 1ヶ月前からは賃貸住宅を借り、寝る時間を惜しんで企画を作り上げてきたという。最高のパフォーマンスが期待できるのではないだろうか。



準備で忙しいけれど、笑顔を忘れない文祭委員会メンバー



企画局長の山崎千夏さん

次回予告！ 学園祭の注目イベント『K.U. ROCK FEVER 7th』で NO.1 に選ばれたアーティストと、『KANDAI DANCE FES.09』で NO.1 に選ばれたダンサーに、学生広報スタッフが直撃インタビュー！『関西大学通信』12月1日号に記事を掲載します。お楽しみに！

セキュリティはまず人から!!

Q.ゼミの研究テーマは?

A.研究テーマは「ネットワークセキュリティ」です。ネットワークやオペレーティングシステム、Web、侵入検知、スパムメール、アルゴリズムなどに関する研究をしています。

Q.具体的な研究内容を教えてください。

A.ネットワークに関するシステムやセキュリティに関するシステムなどの性能向上や改良をめざした研究を進めています。例えば卒業論文のタイトルとしては、バケットを自動制御するシステム、データベースにデータを格納する際のエスケープ処理の自動化、リアルタイムに侵入を検知するシステムなどがあります。

Q.このゼミの魅力は何ですか?

A.一番の魅力は、ゼミ生の「自主性」が尊重されており、ゼミ生の興味のあるテーマについて自分のペースで研究できることです。また、ゼミ生にはさまざまな個性を持った人がいるので、常に新しい発見にあふれています。

Q.ゼミの雰囲気を読るとすれば、どんな雰囲気ですか?

A.ゼミ生みずから活動し、研究はもちろん、勉強会や合宿を行ったり、学園祭の模擬店を出店したりしています。研究に関することには真剣な雰囲気ですが、それ以外の時間はとても和気あいあいとしています。

Q.先生を自慢するとしたら?

A.先生は、子煩悩パパです。お子さんの話をされるときの先生の笑顔は世界一です。

それはゼミ生や他の学生に対してと同様で、空き時間にはゼミ生と一緒にスポーツやゲームをして楽しんだりしています。ゼミ生との距離感がとても近く感じられ、厳しくも親しみやすい先生です。

Q.ゼミで学んだことを将来どのように役立てたいと思っていますか?

A.ゼミでは自主性のほかに「報連相」を重要視しています。みずから考え行動し、報告・連絡・相談をきちんとできることは、どの仕事をする上でも基本として役立つと思っています。



合宿での勉強会の様子

考動するクラブ・サークル

● マスコミュニケーション学研究部

部長 友藤将浩さん
文学部3年次生



個性派ぞろいのおもしろやつら

Q.何人でどれくらいの頻度で活動していますか?

学術研究会において、最も多い部員数。
A.男子20名、女子30名あわせて50人が在籍しており、週2回活動を行っています。

Q.男女比や学年構成はどのような感じですか?

A.女性がやや多いですが、学年による人数のばらつきは少ないと思います。

Q.主な活動内容について教えてください

週2回の活動のため参加しやすい。
A.活動は週1回のパート会議とマス講があります。パート会議では、それぞれのパート(出版、広告、映像)で集まって会議を行います。映像パートでは、ミニミニNHK映像大賞に毎年映像作品を提出しています。

マス講は毎週金曜日に行い、全員が集まってプレゼンをします。プレゼンの主旨は自由で、今年は新型インフルエンザやファッションについてのプレゼンが行われました。ユニークなものではマンガなどもありました。

Q.このクラブのいいところは何ですか?

自分のやりたいことができる。

A.自分がしたいこと、学びたいことができ、それを助けてくれる仲間がたくさんいることです。各パートに分かれているため、さまざまな視点からの意見も参考になります。マス研で得た経験は必ず将来の財産となると感じています。



白熱したプレゼンの様子(写真右から5人目が友藤さん)

CAMPUS
TOPICS

KUBIC 2009 本選会を開催・優勝者決まる

10月3日、千里山キャンパスにて、商学部主催の関西大学ビジネスプラン・コンペティションKUBIC2009の本選会が開催された。

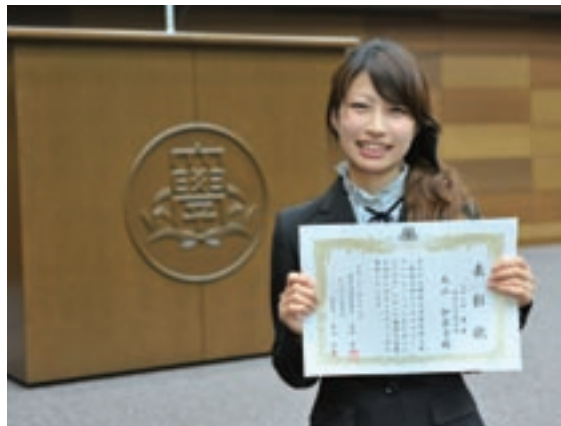
商学部創設100周年を記念してスタートしたこの大会も4回目を迎え、高校、大学、一般の部に全国からあわせて989件の応募があった。

当日は、第1次審査、第2次審査を通過した高校の部、大学の部各5組の計10組が本選会においてプレゼンテーションを行い、高校の部では、京都府立京都すばる高校の一宮葵さんが発表した「じゃがいもがスポンジになっちゃった」

が高く評価されて優勝した。同校は高校の部において学校賞も受賞した。

また、大学の部では、商学部1年次生の丸山加奈子さんが発表したビジネスプラン「エコ・チルドレンプラン」が高く評価されて優勝した。

丸山さんは「入学前教育の課題でもあり、取り組むのであれば最高の結果を得たいと思って今まで頑張ってきた。それが優勝という結果に結びついたので、本当に良かった。」と喜びのコメントを寄せてくれた。



大学の部で優勝した丸山さん

北岡貴文さんが The Award of Best Presenter を受賞

9月7～8日にタイ、バンコクで開催された「EIT-JSCE Joint International Symposium on Geotechnical Infrastructure Asset Management 2009」の Student & Young Engineer Section において北岡貴文さん(工学研究科M2)が The Award of Best Presenter を受賞した。

発表した論文タイトルは以下のとおりである。
「Takafumi Kitaoka D and Harushige Kusumi : Establishing the 3D Model of the Underground Water Management System at Southern Kyoto-city.」

北岡さんに聞きました

「この論文は、地下に下水道施設が敷設された時、地下水の流れがどのように変化するかを数値シミュレーションを行った論文です。」

これによって地下水流動挙動や地下水汚染などの問題に対処できることから、地下水環境の保全に寄与できるものです。」



KUカレンダー11/01-15

日程	イベント・行事名	主対象	問い合わせ先
1日(日)	統一学園祭2009	学生・教職員・一般	学生生活課
2日(月)	統一学園祭2009	学生・教職員・一般	学生生活課
3日(火)	統一学園祭2009	学生・教職員・一般	学生生活課
4日(水)	統一学園祭2009 大学創立記念日	学生・教職員・一般	学生生活課
5日(木)	商学部ロボットビジネス創出セミナー	学生・教職員・一般	第2学舎オフィス
6日(金)	第2回国際シンポジウム(～7日)	学生・教職員・一般	マイノリティ研究センター
7日(土)	東京センター 公開講座	一般	東京センター
8日(日)	中等部・高等部入試説明会 国際フォーラム	一般 学生・一般	中等部開設準備室・高等部開設準備室 なにわ・大阪文化遺産学術研究センター
9日(月)			
10日(火)			
11日(水)			
12日(木)	第183回産業セミナー(りそな銀行大阪本社) 文学部身体運動文化専修・体育学教室 公開授業	学生・教職員・一般 学生・一般	経済・政治研究所 文学部身体運動文化専修・体育学教室
13日(金)	泊園記念講座(～14日)	学生・教職員・一般	東西学術研究所
14日(土)	第18回研究部門別発表会(生命・人間・ロボティクス(B)研究部門) 東京センター 公開講座 読書教養講座 公開授業	学生・教職員・一般 一般 学生・一般	先端科学技術推進機構 東京センター 読売新聞東京本社 活字文化推進会議事務局
15日(日)	第35回飛鳥史学文学講座	一般	教育後援会

イベント・行事については、予告なく変更される場合があります。また、今後追加・中止となるイベント・行事もあります。

詳細・最新情報については、本学ウェブサイトならびに問い合わせ先のウェブサイトなどで必ず確認してください。

『関西大学通信』の紙面内容および構成について、アンケートを実施します。詳細については、インフォメーションシステムの「申請・アンケート」画面より確認・入力してください。今後の『関西大学通信』に反映させていく予定です。ご協力よろしくお願いします。